



2024年 10月期 決算説明会資料

(2023年11月-2024年10月)

2024年12月23日

巴工業株式会社

(証券コード : 6309)



ページ	目次	トピックス
3	2024年 10月期 決算概要説明	<ul style="list-style-type: none"> 売上：化学品事業の増収により過去最高を更新 利益：両事業共に増益により営業・経常利益共に過去最高益を更新 配当：年110円/株から145円/株に増配
10	2025年 10月期 通期業績見通し	<ul style="list-style-type: none"> 売上：両事業共に販売好調により2期連続過去最高更新を見込む 利益：機械事業の増益により営業・経常利益共に5期連続過去最高益更新を見込む
17	資本コストや株価を意識した経営	<ul style="list-style-type: none"> 目標 ROE8.9%、PBRは定常的な1倍超の維持 キャッシュアロケーションを意識した積極的な成長投資 IR活動の更なる強化 連結配当性向40%以上の配当及び、株主優待を実施
26	2025年 10月期の取組みについて	<ul style="list-style-type: none"> 事業ポートフォリオを精査し、各事業部の強みをさらに拡大



2024年 10月期 決算概要説明

2024年10月期 決算



- 売上、各利益いずれも過去最高を更新
- 売上高は、化学工業製品販売事業が伸長したことから前年度比5.0%増
- 経常利益は、両事業共に増益となったことから前年度比16.0%増

(単位:百万円)

	23/10	24/10	前年対比	
	実績	実績	増減	前年比 (%)
売上高	49,628	52,119	+2,490	+5.0
営業利益	4,048	4,703	+655	+16.2
経常利益	4,115	4,775	+660	+16.0
当期純利益	2,733	* 3,616	+882	+32.3

* 決算短信に記載の通り、星際化工および星際塑料の解散および清算決議(以下、星際グループの解散)により当期純利益を180百万円程度押し上げています

2024年10月期 決算 -化学工業製品販売事業-



- 売上高は、半導体製造用途向け材料、建材・耐火物用途向け材料、自動車・電子デバイス用途向け材料、コーティング用途向け材料等を中心に伸長し前年度比6.9%増
- 営業利益は堅調な販売により前年度比9.2%増

(単位:百万円)

	23/10		24/10		
	金額	利益率 (%)	金額	前年比 (%)	利益率 (%)
売上高	36,587	-	39,115	+6.9	-
売上総利益	8,183	22.4	8,692	+6.2	22.2
営業利益	3,218	8.8	3,516	+9.2	9.0

2024年10月期 決算 -化学工業製品販売事業-



(単位:百万円)

	23/10	24/10	差 異	主な増減要因
化成品関連	8,573	9,633	+1,059	新規商権獲得により、コーティング用途向け材料がプラス
機能材料関連	6,190	7,204	+1,014	パワー半導体向け部材が好調
工業材料関連	5,738	6,592	+854	首都圏再開発案件向けコンクリート混和材が好調
鉱産関連	5,630	6,329	+699	自動車用途向け難燃剤が好調
電子材料関連	4,910	4,679	▲230	半導体組立用途向け材料が市況悪化の影響でマイナス
合成樹脂関連	5,298	4,523	▲774	円安による価格競争力低下により輸入樹脂が販売減少
その他(洋酒)	246	151	▲94	2024年2月に洋酒事業売却
合 計	36,587	39,115	+2,528	

2024年10月期 決算 -機械製造販売事業-



- 売上高は、海外および官需の機械販売が伸び悩んだものの、部品/修理および官需・民需の装置/工事販売が堅調だったことから前年度とほぼ横ばい
- 営業利益は部品・修理販売の伸長と前年度からの繰越により前年度比43.1%増

(単位:百万円)

	23/10		24/10		
	金額	利益率 (%)	金額	前年比 (%)	利益率 (%)
売上高	13,041	-	13,004	▲0.3	-
売上総利益	4,361	33.4	4,799	+10.0	36.9
営業利益	829	6.4	1,187	+43.1	9.1

2024年10月期 決算 -機械製造販売事業-



(単位:百万円)

	品目区分	機 械	装置/工事	部品/修理	合 計	主な増減要因
官 需	23/10	909	977	2,700	4,586	機械：大型案件がなく、マイナス 装置/工事：元請工事が好調でプラス 部品/修理：大型案件受注によりプラス
	24/10	414	1,164	2,936	4,515	
	差異	▲494	+187	+235	▲71	
民 需	23/10	704	15	2,212	2,932	機械：化学工業向け好調でプラス 装置/工事：半導体向け装置により大幅プラス 部品/修理：化学工業向け好調でプラス
	24/10	857	339	2,429	3,626	
	差異	+153	+324	+216	+694	
海 外	23/10	2,797	160	2,565	5,522	機械：大型案件がなくマイナス 装置/工事：案件の減少によりマイナス 部品/修理：前年度からの繰越案件で大幅プラス
	24/10	1,650	73	3,138	4,862	
	差異	▲1,146	▲86	+573	▲659	
合 計	23/10	4,411	1,152	7,477	13,041	
	24/10	2,922	1,577	8,504	13,004	
	差異	▲1,488	+424	+1,026	▲37	

2024年10月期 決算 -B/S (連結)-



(単位:百万円)

	23/10	24/10	増減	前年比 (%)	主な増減要因
流動資産	39,029	42,239	3,210	8.2	現金及び貯金 +1,413 商品及び製品 +726
固定資産	9,977	10,949	972	9.7	建設仮勘定 +264 退職給付に係る資産 +566
資産合計	49,007	53,189	4,182	8.5	
	23/10	24/10	増減	前年比 (%)	主な増減要因
流動負債	11,359	13,247	1,888	16.6	支払手形及び買掛金、電子記録債務 +971 契約債務 +366
固定負債	814	590	▲223	▲27.5	繰延税金負債 ▲221
負債合計	12,174	13,838	1,664	13.7	
純資産合計	36,832	39,351	2,518	6.8	利益剰余金 +2,288
負債・資本合計	49,007	53,189	4,182	8.5	



2025年10月期 通期業績見通し

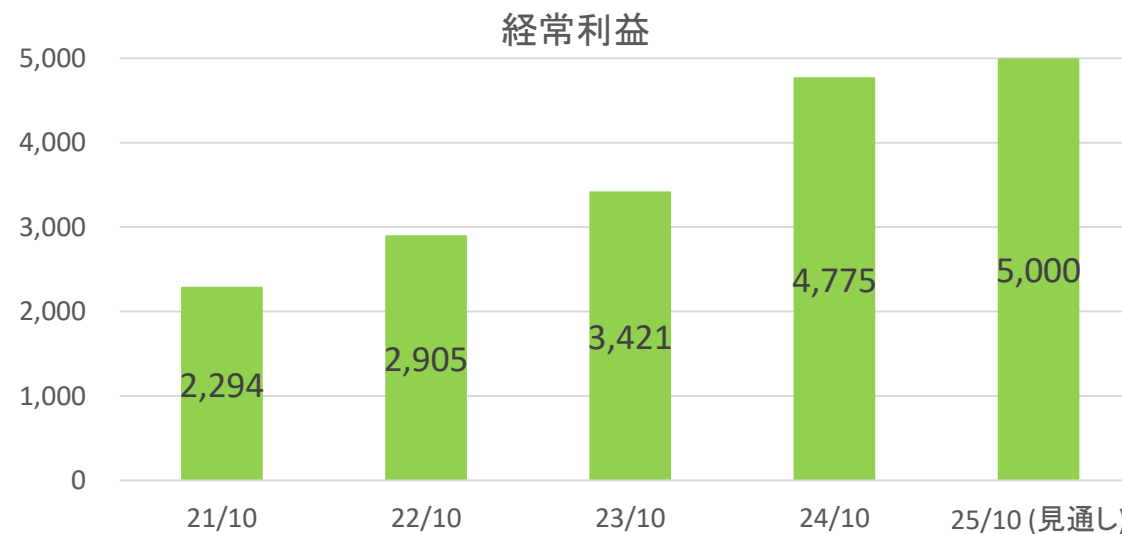
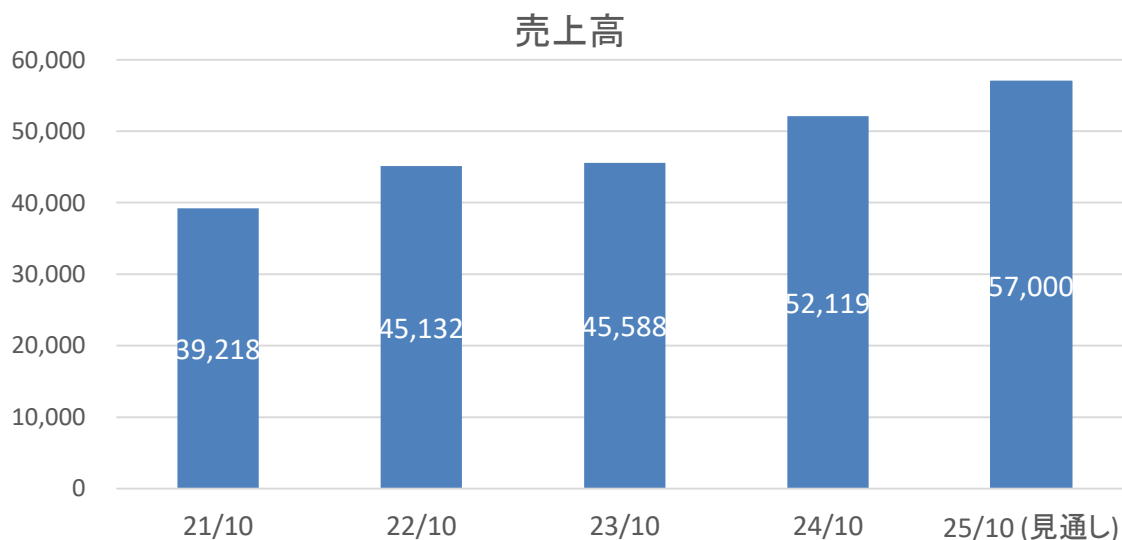
2025年10月期 通期業績見通し



- 売上、各利益いずれも過去最高の更新を見込む
- 第13回中期経営計画の最終年度(2025年10月期)目標を上方修正

(単位:百万円)

	24/10	25/10	前年対比	
	実績	見通し	増減	前年比 (%)
売上高	52,119	57,000	+4,880	+9.4
営業利益	4,703	4,960	+256	+5.5
経常利益	4,775	5,000	+224	+4.7
当期純利益	3,616	3,620	+3	+0.1



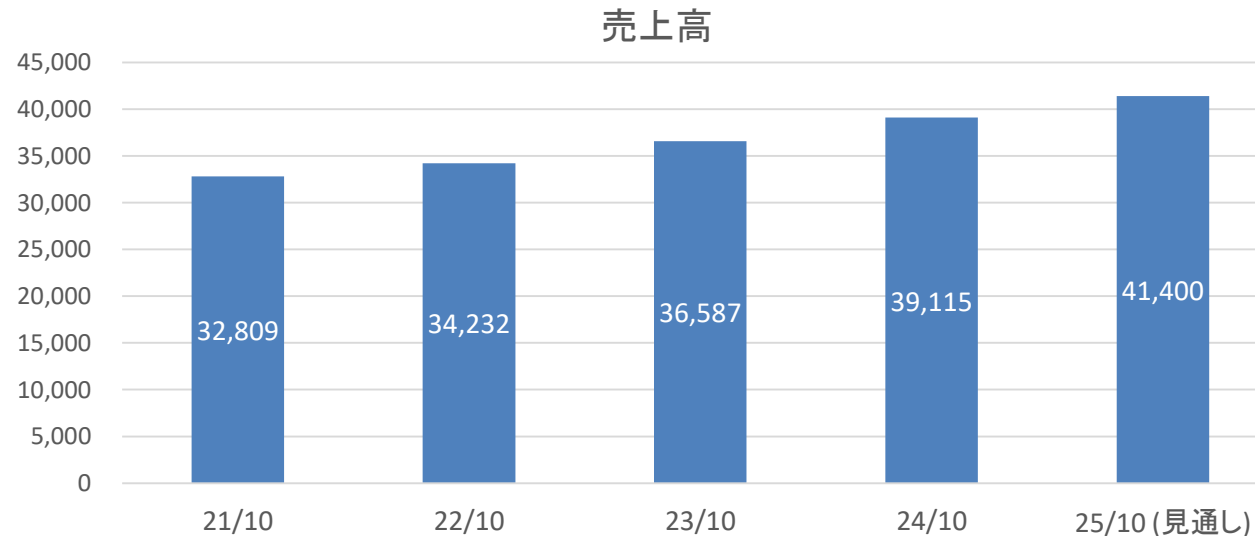
2025年10月期 通期業績見通し -化学工業製品販売事業-



- 売上高は化成品、工業材料、鉱産の販売増により前年度比5.8%の増収を見込む
- 営業利益は人件費や営業開発関係等による販管費の増加を見込み前年度比0.7%減

(単位:百万円)

	24/10		25/10		
	実績	利益率 (%)	通期見通し	前年比 (%)	利益率 (%)
売上高	39,115	-	41,400	+5.8	-
売上総利益	8,692	22.2	9,180	+5.6	22.2
営業利益	3,516	9.0	3,490	▲0.7	8.4



2025年10月期 通期業績見通し -化学工業製品販売事業-



(単位:百万円)

	24/10	25/10	差 異	主な増減要因
化成品関連	9,633	9,975	+342	2024年10月期の新規商権獲得の影響継続に加え、コーティング用途向け原料の拡販によりプラスを見込む
機能材料関連	7,204	7,678	+474	自動車向け材料、半導体向けセラミック材料等の拡販によりプラスを見込む
工業材料関連	6,592	6,665	+73	首都圏再開発案件向けコンクリート混和材の好調継続によりプラスを見込む
鉱産関連	6,329	7,481	+1,152	樹脂向け添加材の拡販によりプラスを見込む
電子材料関連	4,679	5,089	+410	半導体組立用途向け材料の拡販によりプラスを見込む
合成樹脂関連	4,523	4,421	▲102	星際グループの解散に伴う減収を見込む
合 計	39,115	41,400	+2,285	

2025年10月期 通期業績見通し -機械製造販売事業-

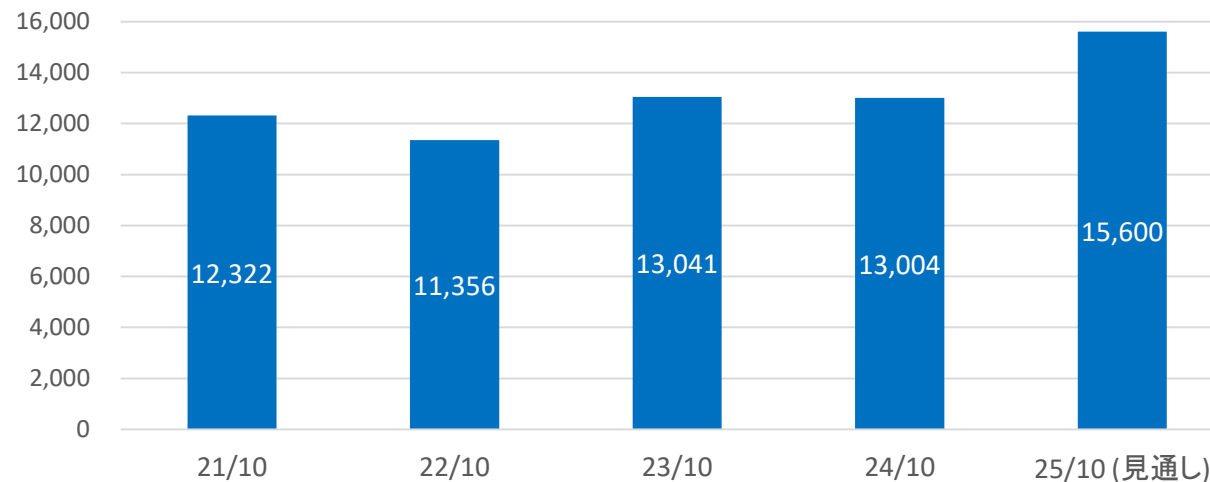


- 売上高は国内官需・民需および海外の機械、装置・工事販売の好調により前年度比20%増
- 営業利益は人件費や販管費の増加を見込むものの増収効果により前年度比23.8増

(単位:百万円)

	24/10		25/10		
	金額	利益率 (%)	通期見通し	前年比 (%)	利益率 (%)
売上高	13,004	-	15,600	+20.0	-
売上総利益	4,799	36.9	5,750	+19.8	36.9
営業利益	1,187	9.1	1,470	+23.8	9.4

売上高



* 2022年10月期の売上高から新たな収益認識基準を適用しています

2025年10月期 通期業績見通し -機械製造販売事業-



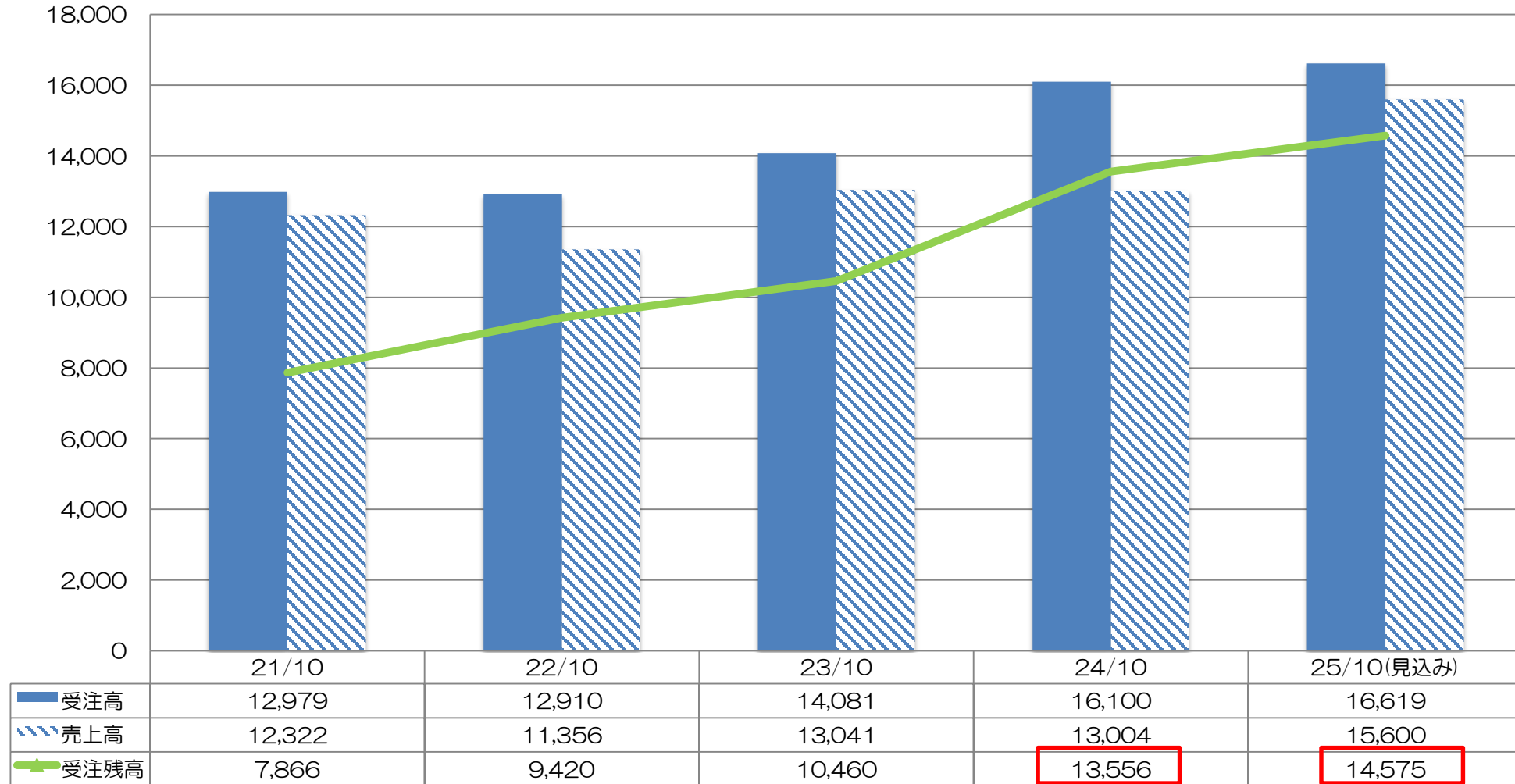
(単位:百万円)

	品目区分	機 械	装置/工事	部品/修理	合 計	主な増減要因
官 需	24/10	414	1,164	2,936	4,515	機械：中型機中心に好調を見込み大幅プラス
	25/10	1,073	1,575	3,165	5,815	装置/工事：元請工事の好調によりプラス
	差異	+659	+411	+229	+1,300	部品/修理：大型案件受注によりプラス
民 需	24/10	857	339	2,429	3,626	機械：化学工業、廃プラ向けが好調で大幅プラス
	25/10	1,729	612	2,307	4,648	装置/工事：半導体向け装置、廃プラ向けによりプラス
	差異	+872	+273	▲122	+1,022	部品/修理：全体的に低調を見込みマイナス
海 外	24/10	1,650	73	3,138	4,862	機械：化学工業向け案件によりプラス
	25/10	1,817	306	3,016	5,136	装置/工事：半導体向け装置によりプラス
	差異	+167	+233	▲122	+274	部品/修理：大型案件が無く、マイナス
合 計	24/10	2,922	1,577	8,504	13,004	
	25/10	4,620	2,493	8,485	15,600	
	差異	+1,698	+916	▲19	+2,596	

2025年10月期 受注残 -機械製造販売事業-



- 2024年度 10月期における受注残は、前年度比 3,096百万円増加し過去最高を更新



* 2022年10月期の売上高から新たな収益認識基準を適用しています



資本コストや株価を意識した経営

現状分析① (株価推移)

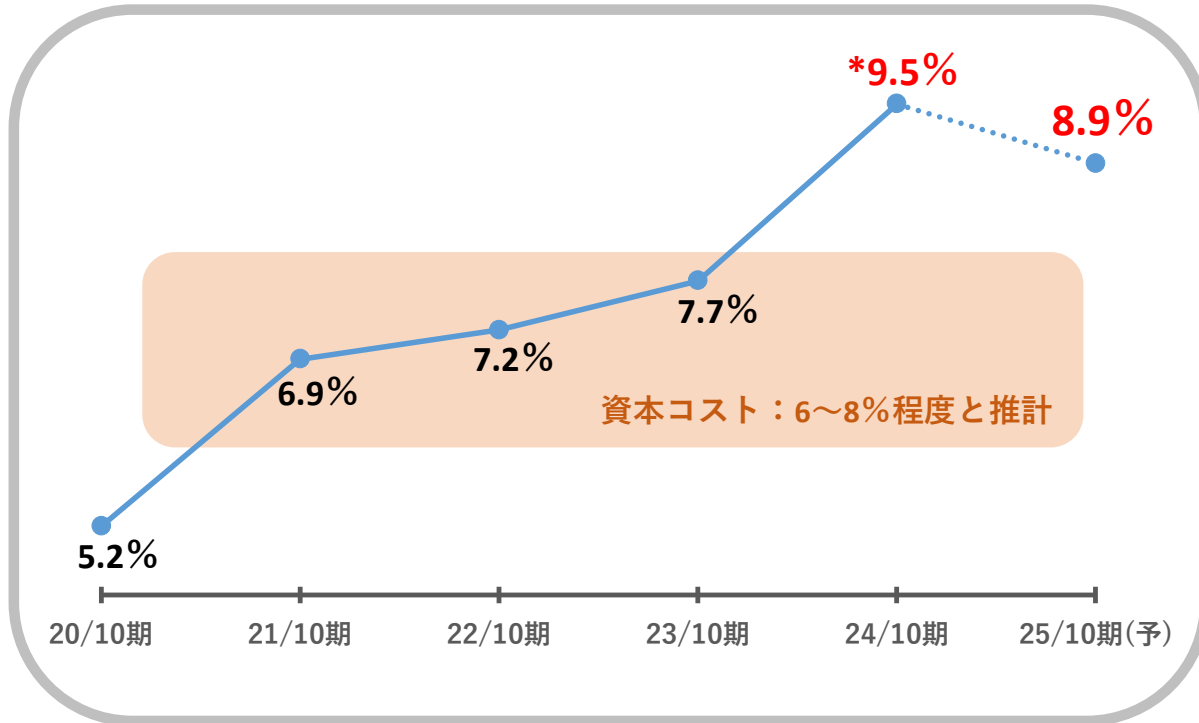


現状分析② (ROE・PBR推移)

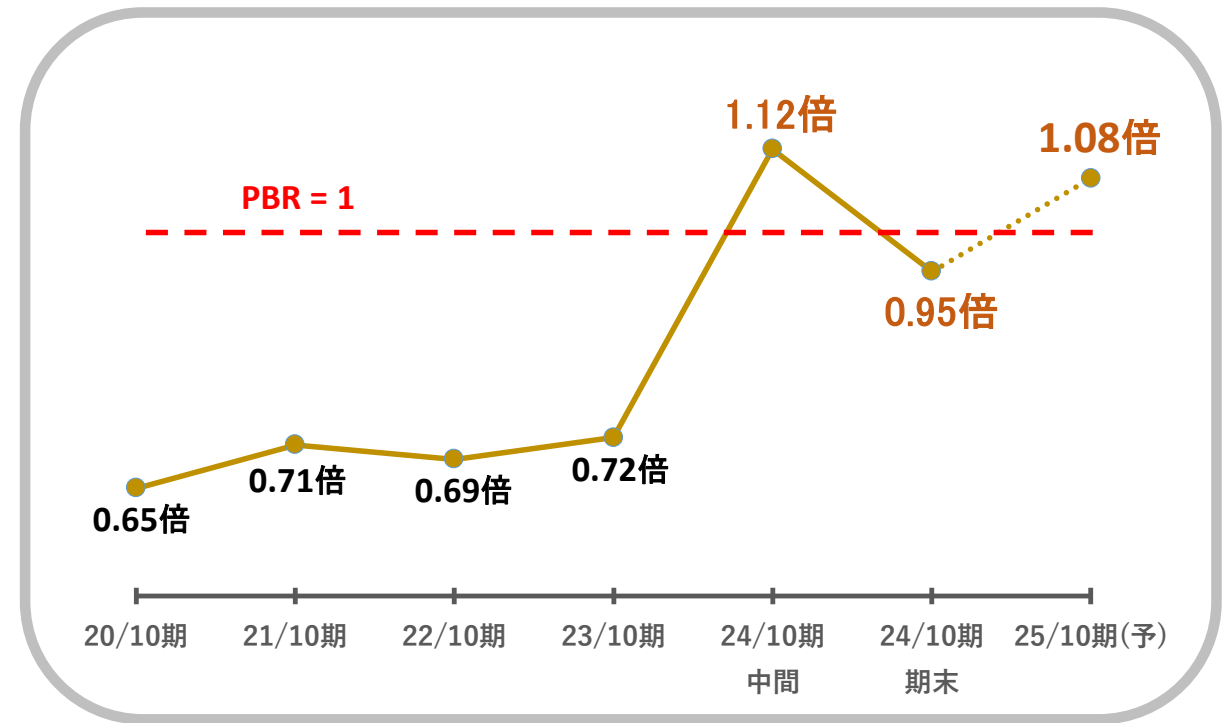


- ・ 事業リスク、財務リスク、株価等から総合的に判断し、資本コストは6~8%と推計
- ・ 2024年10月期末のROEは9.5%と大きく上昇
(*星際グループの解散による特殊要因を除くとROEは9.0%程度になる見込み)
- ・ 期中に達成したPBR > 1倍を定常的に維持出来るよう、企業価値向上に向けた取り組みを継続して実施

ROEの推移



PBRの推移



企業価値向上に向けた取り組み(全体像)



取組事項

PBRの
向上

ROEの
向上

PERの
向上

① 重点施策の着実な推進 (スライド 29, 32)

- (1) 化学品事業 : パワーデバイス市場での商権確立、新事業の立ち上げ
- (2) 機械事業 : 海外展開の拡大、バイナリー発電装置の販売開始、第三の柱となる新規製商品の海外調達強化

② 資本効率の向上 (スライド 21)

キャッシュアロケーションを意識した株主還元並びに成長投資の実施

③ 株主還元の強化 (スライド 22)

現・中期経営計画の方針(連結配当性向40%以上)に則した配当の実施

④ 事業ポートフォリオの最適化 (スライド 27)

- (1) 星際グループの解散を決定
- (2) 海外向け大型遠心分離機の生産能力拡大を目的とした新工場用地を取得
- (3) バワイン・アンド・スピリッツの売却を実施

① IR活動の強化 (スライド 23)

投資家の皆様と積極的な対話を実施、経営層へのフィードバック機会の増加

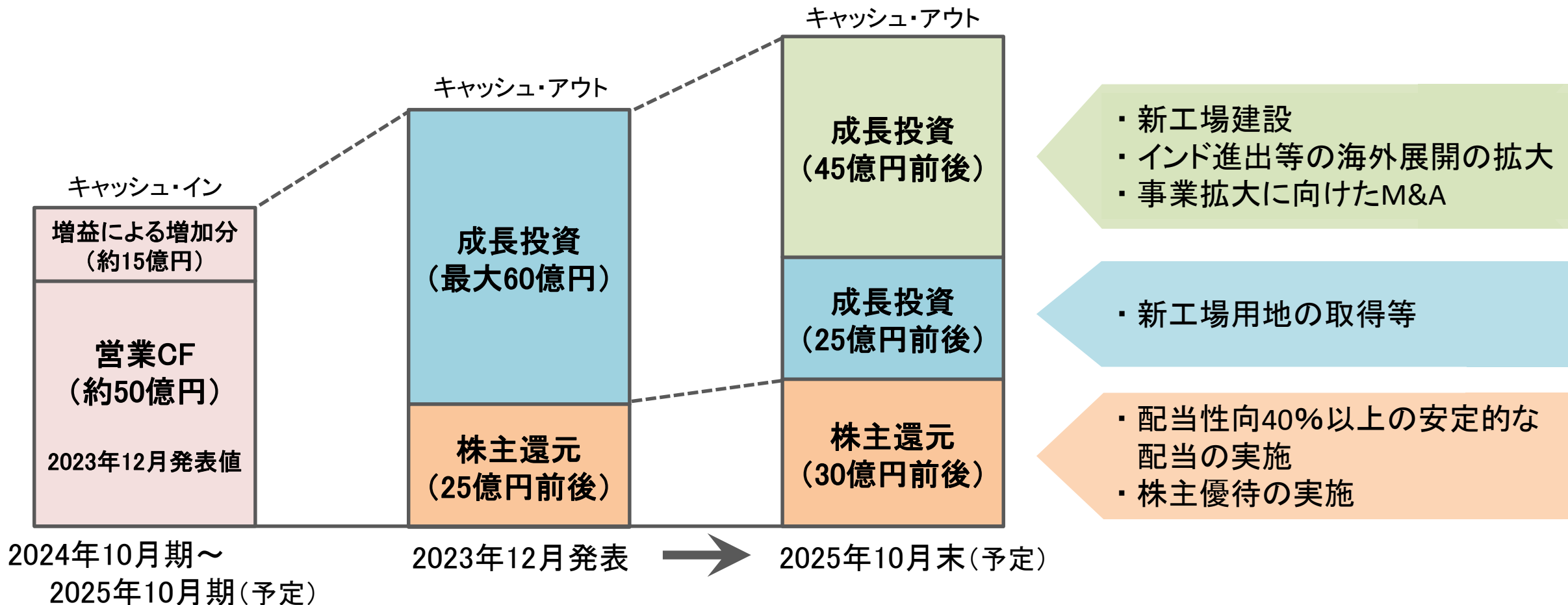
② サステナビリティの推進 (スライド 24, 25)

- (1) 環境対応商材の充実化、温室効果ガス排出量削減への取り組みを推進
- (2) 人的資本への取り組みを強化

資本効率の向上（キャッシュアロケーション）



- ・ 機械事業の生産拡大に向けた投資（新工場用地取得等）を決定
- ・ 2023年12月発表の配当方針に従い、配当性向40%以上を目標とした安定配当を実施

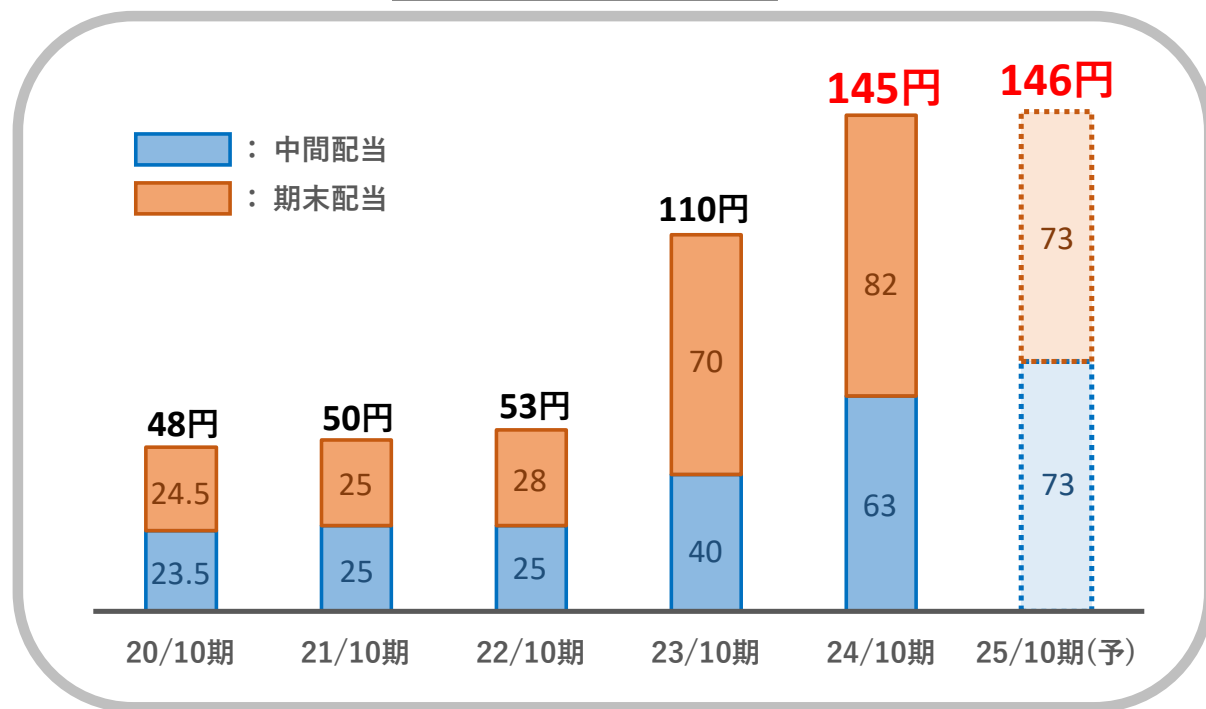


株主還元強化(配当・株主優待)

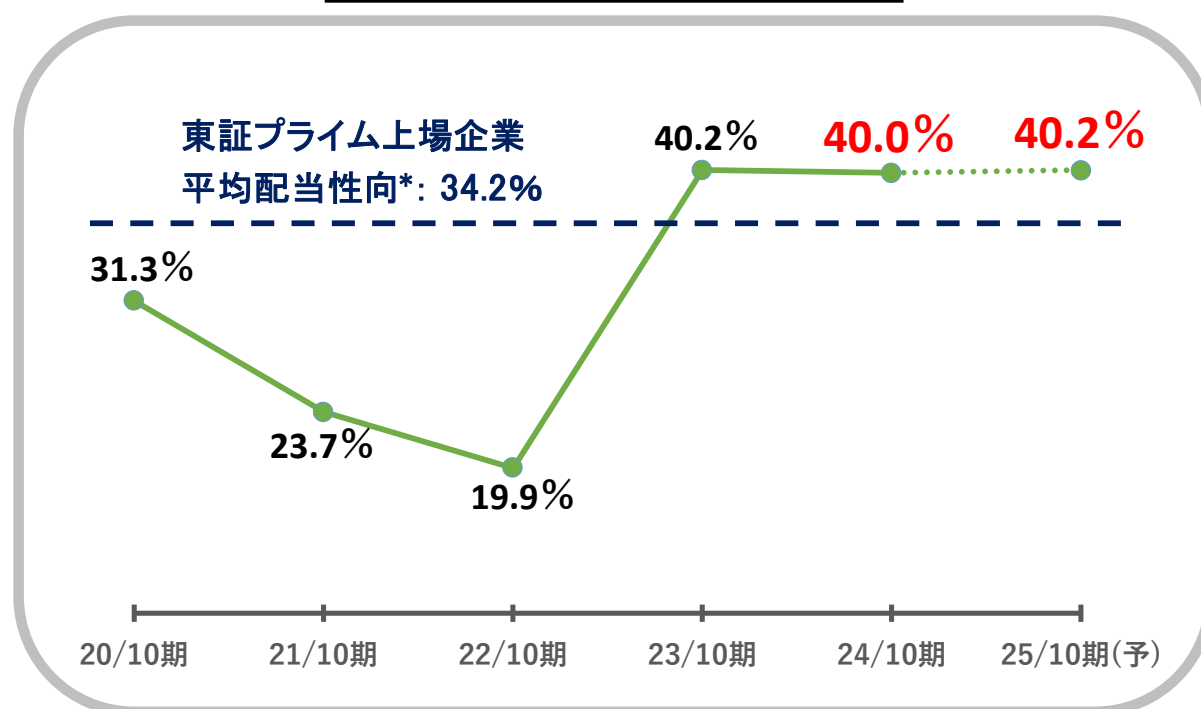


- ・ 2024年10月期の中間配当：60円から63円への増配を実施
 期末配当：60円から82円への増配を実施(年間配当は120円から145円への増配)
- ・ 2025年10月期の年間配当：146円を予定
- ・ 保有期間1年以上の株主様を対象に、優待品としてワインを贈呈
 (保有株式数 100株以上300株未満:ワイン1本、300株以上:ワイン2本)

配当金の推移



連結配当性向の推移



*引用元：東京証券取引所 / 2023年度決算短信集計(連結・プライム)

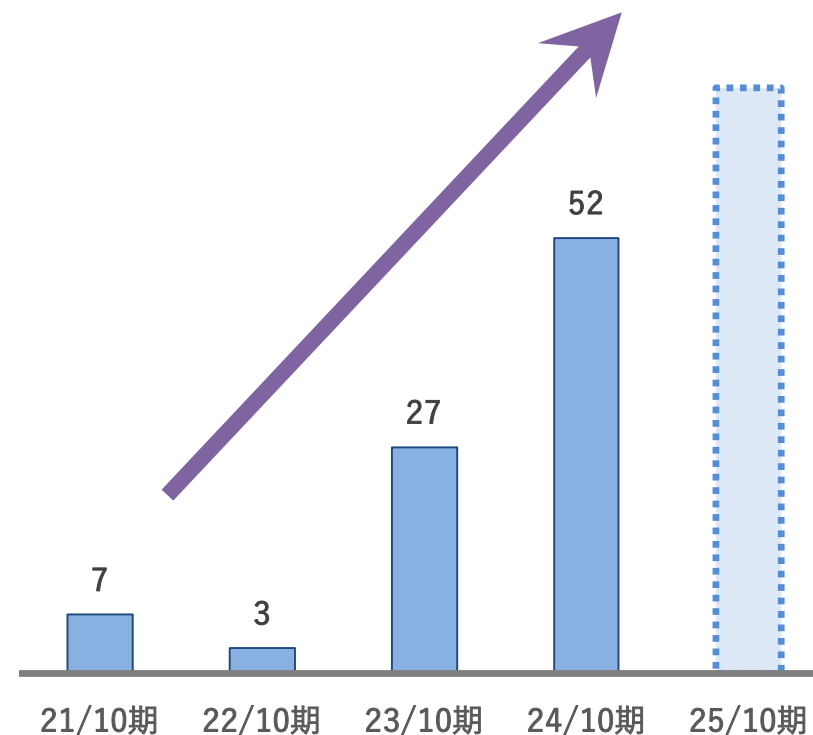
IR活動の強化



- ・ 2024年4月1日より経営企画部にIR・企画課を新設し、投資家の皆様との積極的な対話を強化
- ・ 投資家の皆様の意見を反映させるため、役員会へのフィードバックを四半期毎に実施

活動内容	2023年10月期	2024年10月期
決算説明会	3回	3回
個人投資家向け説明会	1回	1回
役員会へのフィードバック	1回	4回
担当部署	総務部 総務課	経営企画部 IR・企画課 (新設)

投資家の皆様との面談回数推移



サステナビリティ(気候変動/脱炭素)

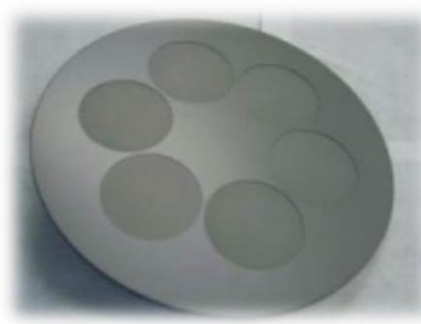


GHG(温室効果ガス)排出量削減に取り組んでおります(下記に弊社の対応例を記します)



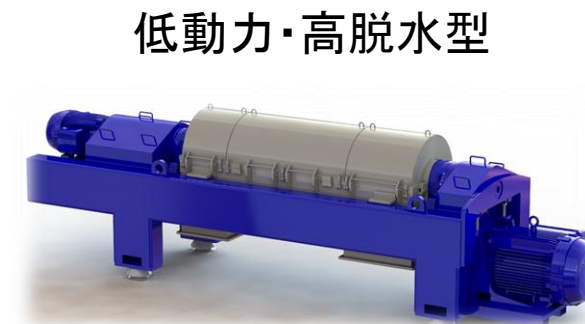
紫外線硬化樹脂

従来の熱硬化に代わり熱源が不要の為
省エネルギーに貢献



SiC加工品(パワー半導体向け)

EV車および産業向けパワー半導体の
Si→SiC化による省エネルギーに貢献

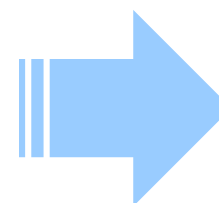


低動力・高脱水型

遠心分離機

脱水汚泥の水分を低減させることで
焼却時のエネルギー削減に貢献

当社のGHG排出量イメージ(合計 約26万t/年)



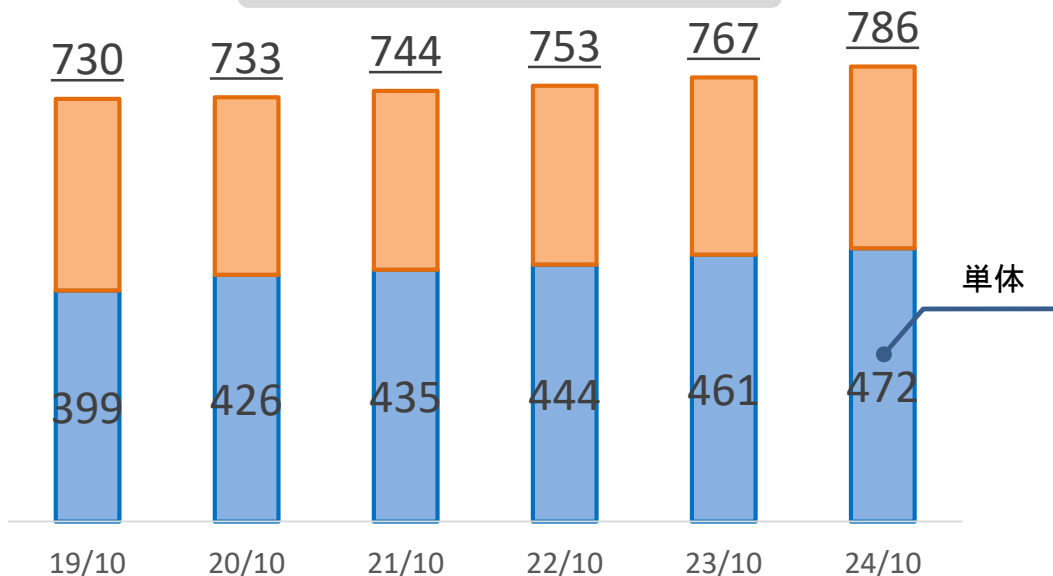
今後は今回の結果の分析を進め
サプライチェーンにおける
温室効果ガスの削減に関する対応を検討予定

サステナビリティ(人的資本)



より働きやすく働き甲斐のある会社を目指し新人事制度改革に着手

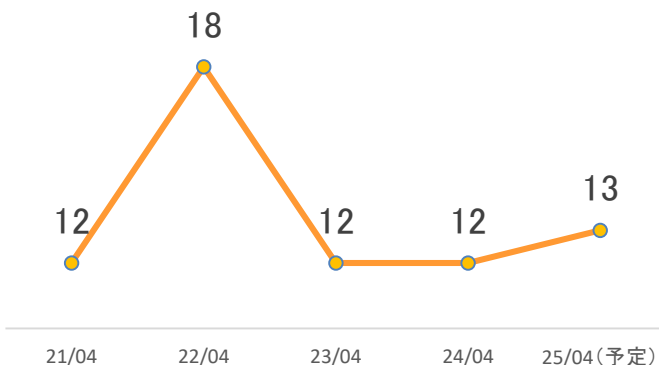
連結従業員人数(期末時点)



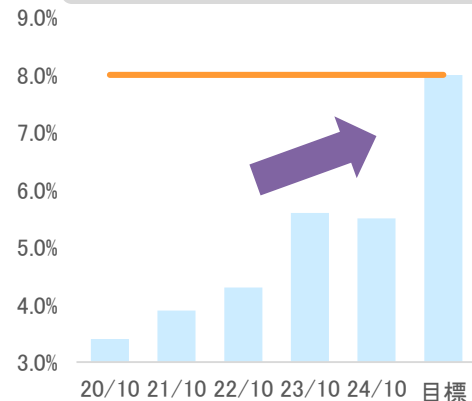
2024年10月期に実施した新たな取り組み(単体)

- ① **有給休暇の取得率向上**
時間単位の有給休暇制度を導入等
- ② **多様で柔軟な働き方を可能にする施策**
副業ガイドラインの制定等
- ③ **大卒初任給の増額及び世間水準を超える賃上げの実施**
初任給: 約22万円→約27万円/基本給へ増額
ベア及び定昇: 5%~10%の範囲内で実施

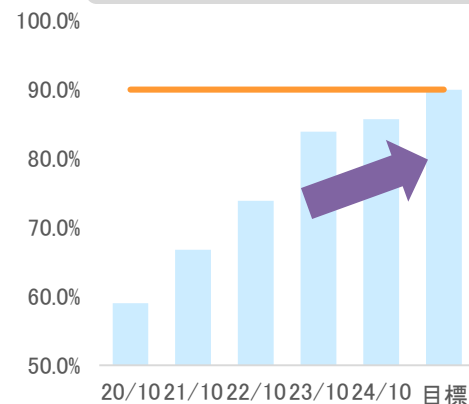
新卒社員(単体)



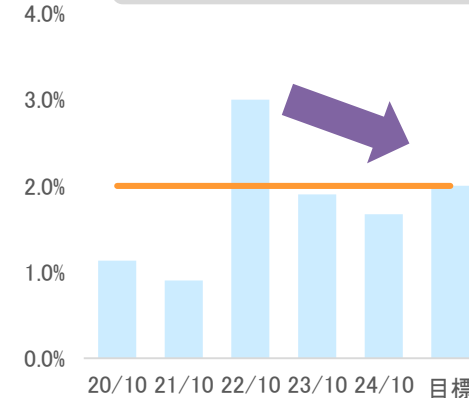
総合職女性比率(単体)



有休取得率(単体)



離職率(単体)





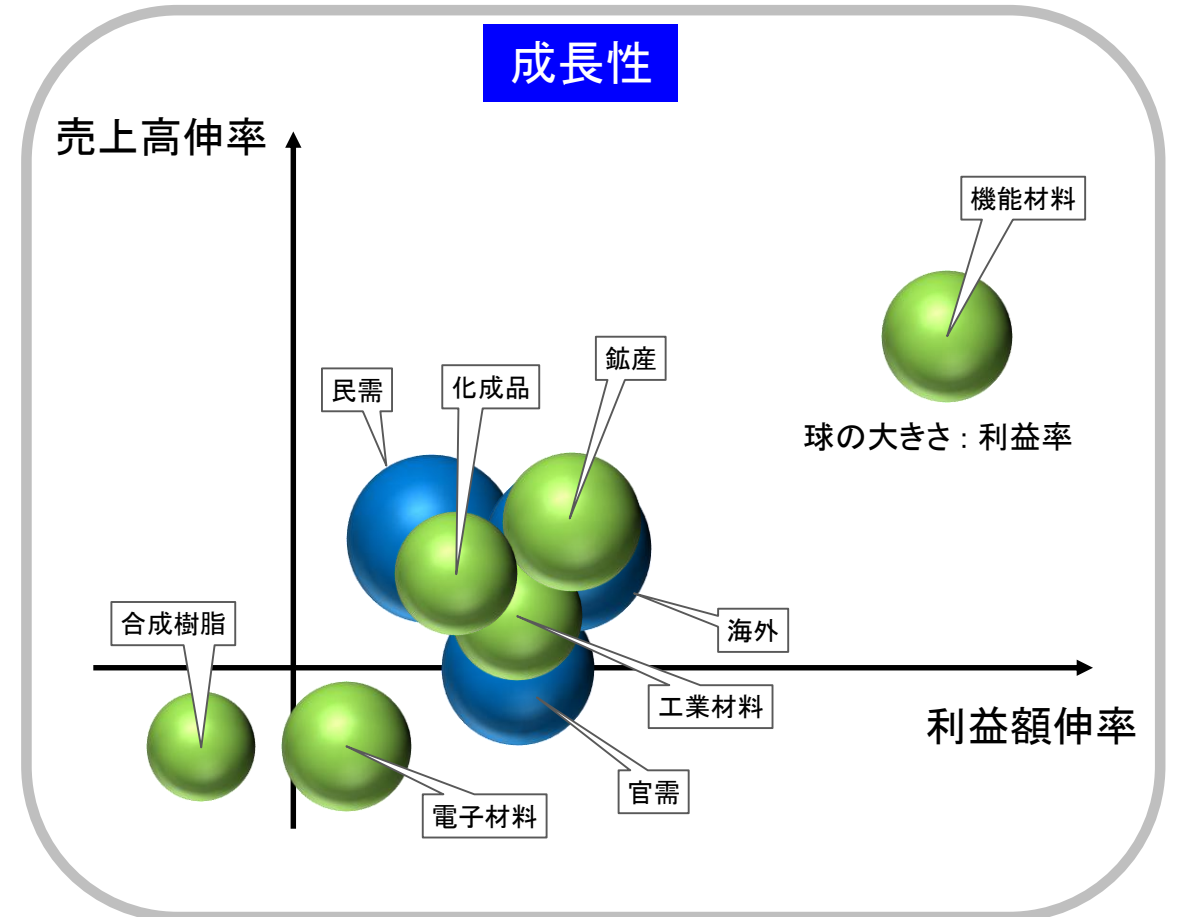
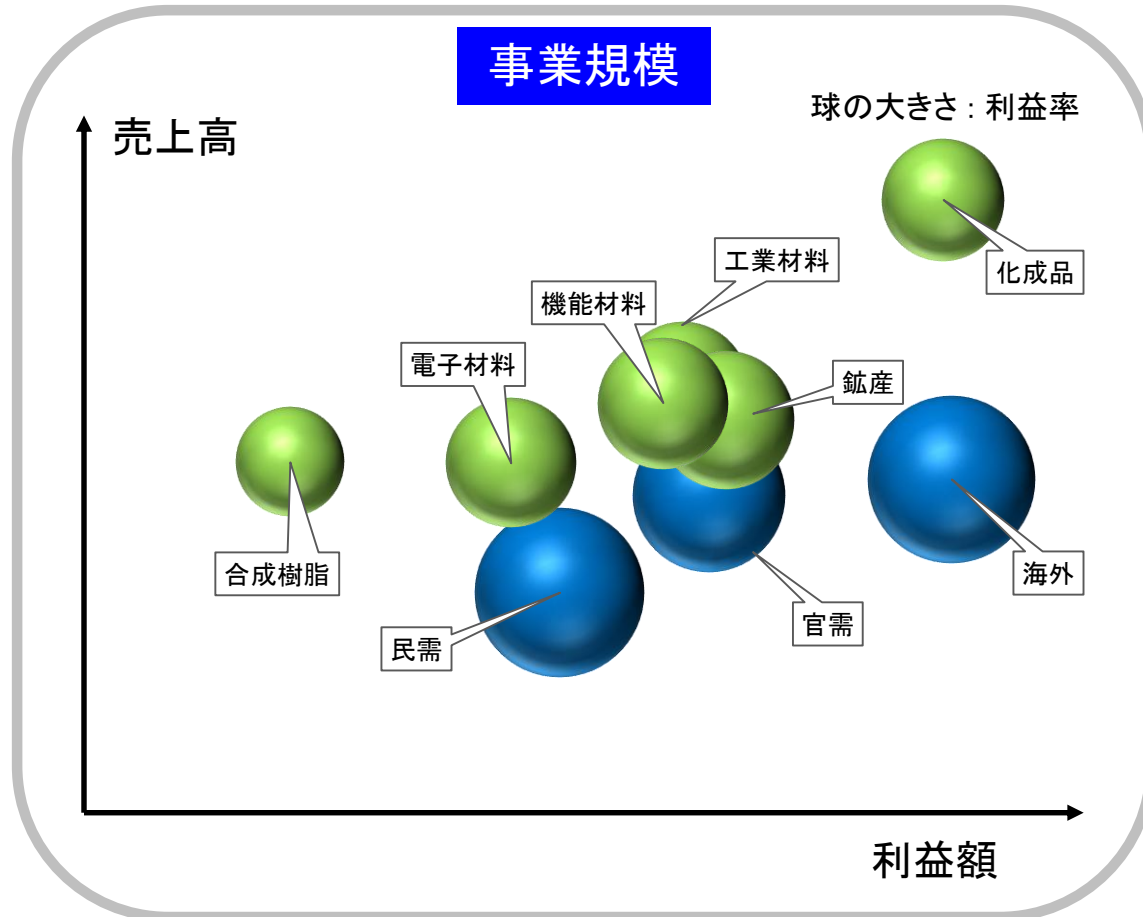
2025年 10月期の取組みについて

事業ポートフォリオ



- ・化学品事業 :合成樹脂のコンパウンド事業を担う中国子会社の解散および清算を決定
→ 2026年中に清算完了を目指す
- ・機械事業 :海外を中心に需要拡大が見込まれる大型遠心分離機生産能力拡大を目的に新工場用地を取得
→ 2027年3月新工場竣工予定

緑色 : 化学品事業
青色 : 機械事業



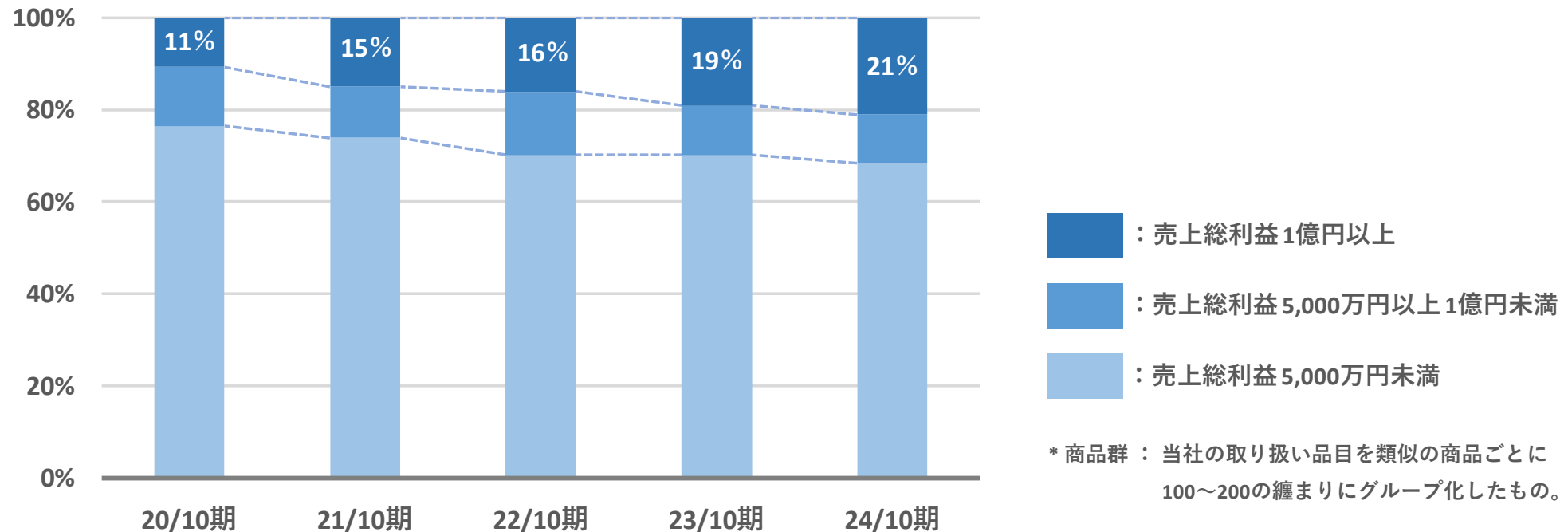
* 売上高、利益額、利益率、伸率は直近3年平均値

巴工業の強み(化学品事業)



- ・ ニッチな高シェア商材、認定を取っている商材等、市場に対して強みを持つ商品を多数保有している
- ・ 発展途上国を始めとした、競合他社とは異なる地域での商材発掘、輸入販売を実施
- ・ 年間約7,000~8,000品目の商品を販売し、既存の販売ネットワークを活用した拡販活動に強みを持つ
- ・ 理系人材を積極活用することで、「豊富な技術的知見」と「高い商品知識力」を活かした営業活動を実施
- ・ 業界トップクラスの仕入先 / 販売先に対し、良好な信頼関係を長期的に築いている

商品群*比率の推移



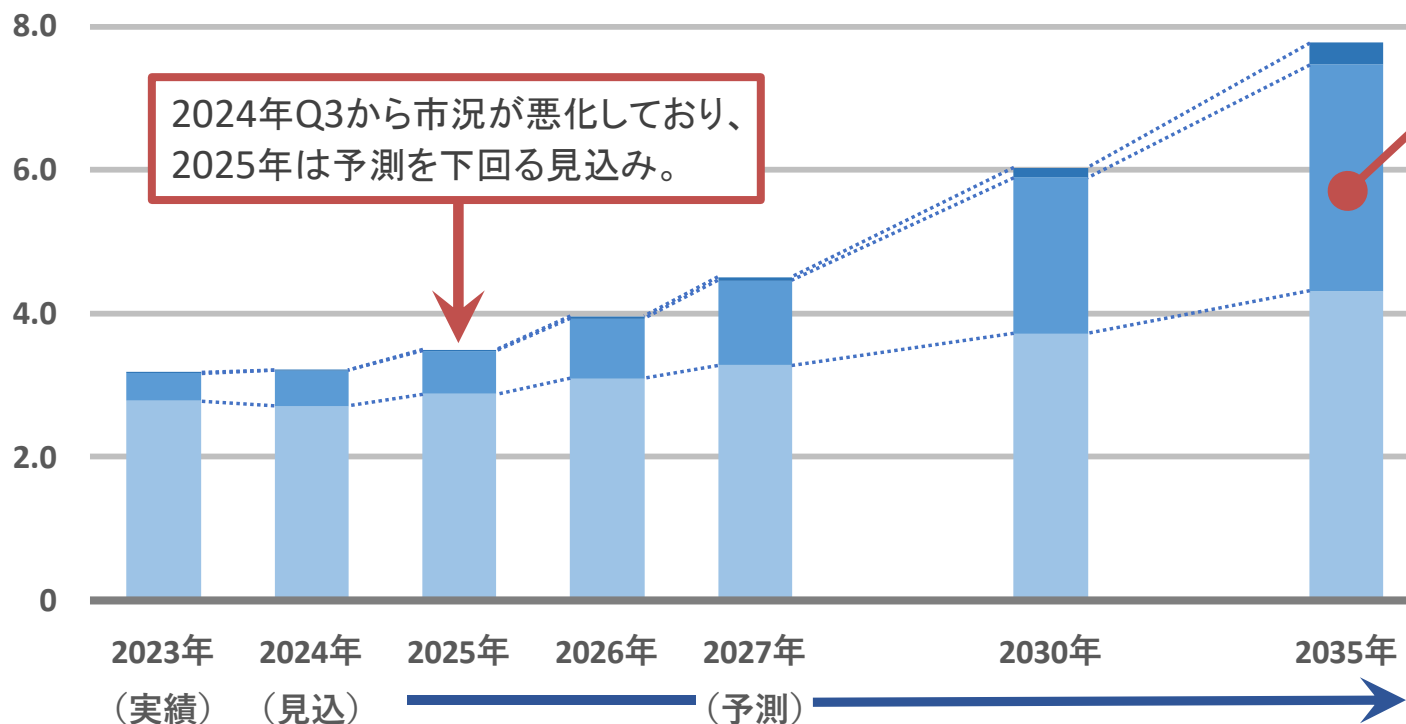
重点施策の推進（化学品事業）



- ・ パワーデバイス市場での商権確立を加速させるため、機能材料関連の組織体制を強化
- ・ 新事業立ち上げに向け、ライフサイエンス分野の新商材の選定を継続中

パワーデバイス市場の推移予測*

単位：兆円



SiCパワーデバイス市場

CAGR : 18.4%

(対象: 2024年~2035年)

- : 次世代パワーデバイス (SiCを除く*)
- : 次世代パワーデバイス (SiC)
- : シリコンパワーデバイス

* SiCを除く次世代パワーデバイス：
GaN、酸化ガリウム、ダイヤモンド

*引用元：富士経済「2024年版 次世代パワーデバイス&パワエレ関連機器市場の現状と将来展望」

(参考) 2025年 半導体市況について

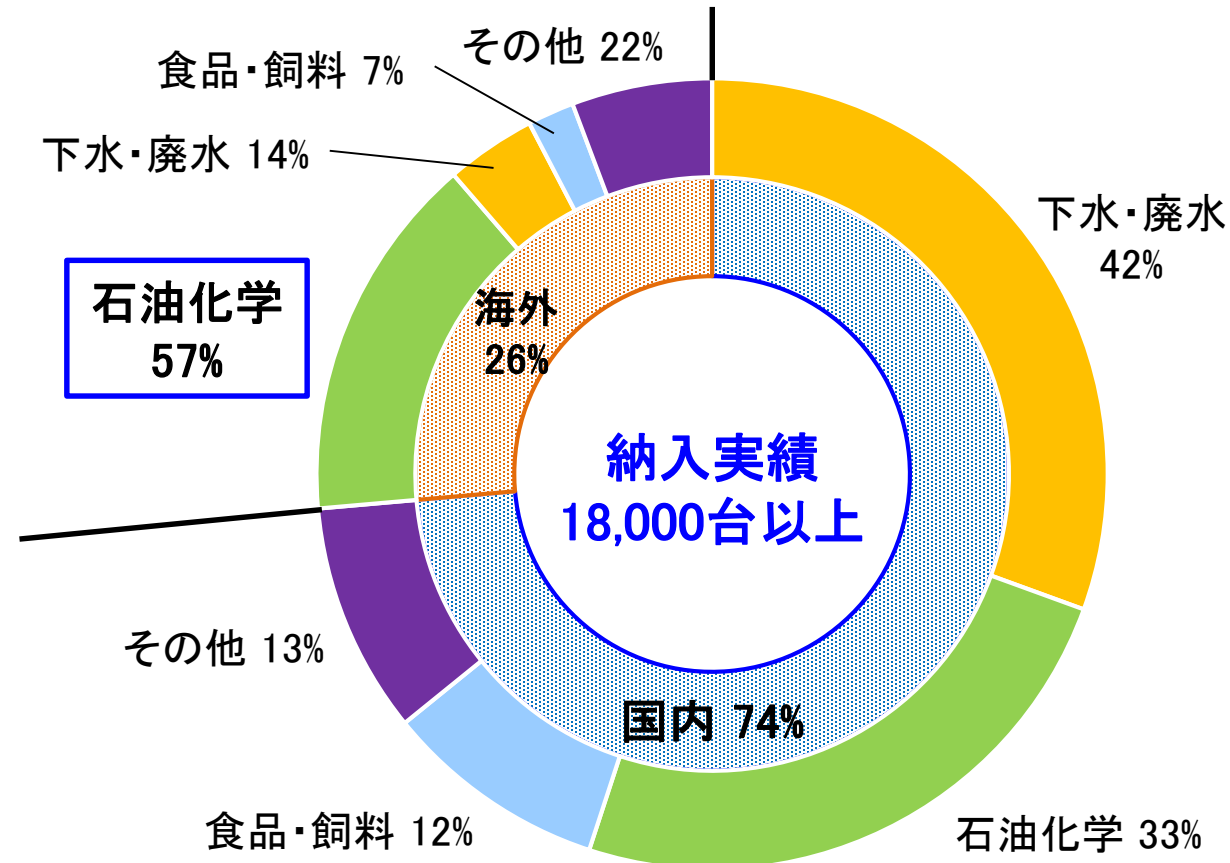


用途	Si ウェハー径	SiC ウェハー径	2025年 半導体市況
ロジック	300 mm	-	• AI関連サーバー、メモリ等が牽引役となって 順調に推移すると予測
メモリ			
パワー半導体	≦200 mm	≦200 mm	• Si、SiCウェハーともにEV、産業用の市況悪化 • 2025年下半期より市況好転する見込み

巴工業の強み(機械事業)



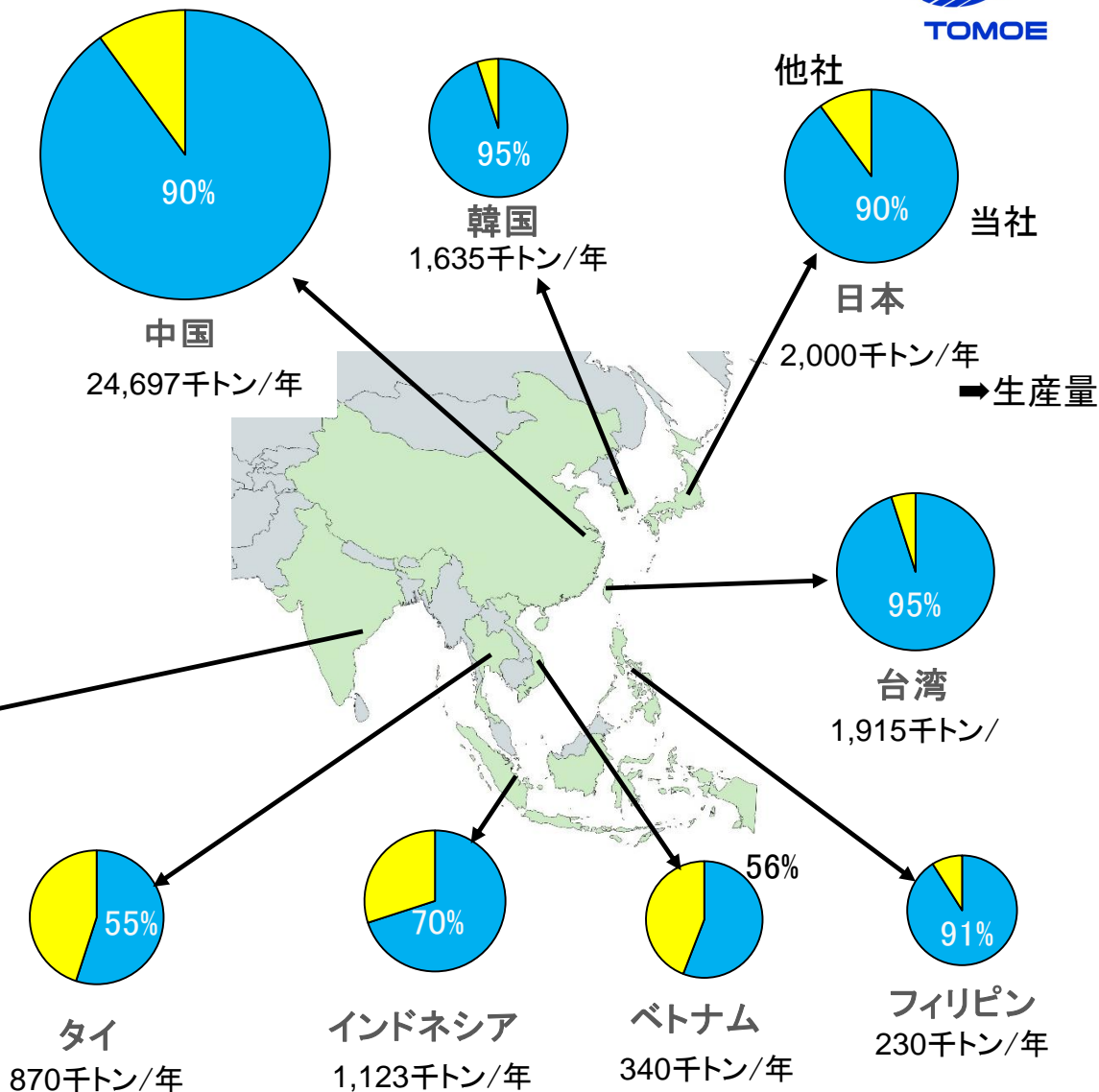
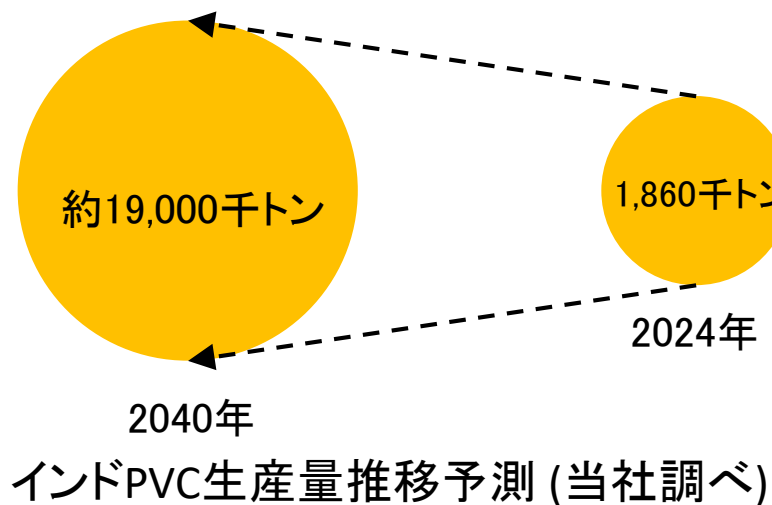
- ・ 70年以上の製造販売、修理実績をベースとした顧客からの厚い信頼
- ・ 今まで積み重ねてきたノウハウを基に、競合他社が対応出来ないカスタムメイド機の製造販売を実施
- ・ 高いシェアを背景に、幅広い顧客層と強固なネットワークを構築し、当社に初期案件情報が集約される
- ・ 機械販売だけに留まらず、元請工事の受注を可能にする技術力と組織体制
- ・ アジア圏を中心に、特に石油化学産業に多数の納入実績を持つ



重点施策の推進（機械事業）



- ・ PVC生産量世界第一位の中国にて300台以上の納入実績
→ **当社シェア90%**
- ・ 今後PVC生産量が急成長するインドに注力
→ **2025年中に現地法人を設立**
- ・ 今後インド・中国の石油化学プロジェクトは大型機がメイン
→ **新工場建設で生産効率向上**



アジアにおける当社のPVC向けシェア



〈注意事項〉

本資料に掲載されている業績予想等は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は様々なリスクや不確定な要素などの要因により異なる可能性があります。

IRに関するお問い合わせ
巴工業株式会社
経営企画部 IR・企画課
E-mail : ir-info@tomo-e.co.jp